

会長：佐久間 誠  
幹事：橋 本 政 行



**創立1987年5月18日**

 **挑 戦 ～未来は今始まる～**



**世界に希望を生み出そう**



<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

会員数：56名／出席率：59.18%



会長 佐久間 誠

をしたり、道路に捨てられた空き缶や吸い殻を拾って



◆閉会点鐘 会長 佐久間 誠



その後、自身が経営する会社で社員や

[illegible]

家族達と以下の事を計画し実践できました。



- ①ペットボトルキャップを各家庭から集め、ポリオに寄付
- ②市内の幼稚園のさつま芋掘りの提供
- ③埼玉県と連携し県道のロードサポートと新方川のリバーサポート
- ④米や野菜を作り子供食堂への寄付や販売した売上

## 金をアイメイトへ全額寄付

これらは越谷東ロータリークラブに入会して経験した事がきっかけで、自身の経営する会社の社員達にも広がり、皆で社会貢献ができた結果です。そしてそれが会社の業績や働き易さに繋がっていると確信しております。

これからも地域貢献や社会奉仕をいつまでも続けていけるよう、会社経営も頑張っていきます。

## 幹事報告

幹事 橋本 政行

来週の例会は吉川ロータリー中村パストガバナーの卓話がございまして多くの方のご出席をお待ちしております。



## セミナー報告

### ■ 青少年奉仕委員会 委員長 鈴木 二之将

8月19日(土)上尾市文化センター開会点鐘13時30分～ 国際ロータリー第2770地区

青年奉仕部門セミナーに本年度佐久間会長、橋本幹事、私、鈴木二之将3名にて出席して参りました。

ガバナー梨本松男様のご挨拶で、「コロナ禍において、青少年奉仕部門にその活動はほとんど制限されていましたが、前年細淵年度より青少年交流を始め、青少年活動も再開されました。韓国友好地区3750地区のインターアクトの交換交流事業やRYLA研修など、何年ぶりの様々な青少年奉仕事業を、コロナ禍前よりも積極的に取り組んで、コロナ禍の空白を取り戻しましょう」とお話し賜りました。

そして、なんと言っても、マッキナリー RI 会長の強調事項の一つに。“ロータリーとローター



アクトとが互いに協力し、支え合う新しい方法の模索”は、青少年奉仕部門にとっての最重要項目です。ただ、日本におけるローターアクトとロータリーとの関係性は、まだまだ、RI会長の考える関係性には及んでいない状況は否めない事実です。例えば、12のグループ内に、最低一つのローターアクトクラブ有れば、ロータリーとの関係性も前進するのでは? と考えます。

現在、越谷東高校インターアクト部と協力し、環境次世代に向けて越谷東中学校ヘインターアク

ト部の説明に伺えるように調節しております。この件に関して本年度会長である佐久間会長御同行のほどよろしく願いいたします。青少年奉仕部門セミナーで梨本ガバナーお話しの通り、ローターアクトとインターアクトを一つにする(統合)に向けて設立実現のご協力の程よろしく願いいたします。

青少年奉仕部門大貫等諮問(シモン)【上尾西RC】よりロータリアンの責務として、若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識し、より良き未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めること、そして青少年に将来の準備をさせることだと言われてます。【子は国の宝】【子は地域の宝】と言われており、このことを踏まえすべてのクラブと地区は、青少年の健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプログラムを立ち上げるように奨励されています。

このセミナー報告を各クラブで発表できる事を願っておられました山本かなえインターアクト・ローターアクト委員長(大宮南 (C))は青少年奉仕部門の中ではインターアクト世代への青少年交換の情報発信やその後のローターアクト世代への移行、その上でRYLA研修への参加といった繋がりのある形をつくっていただけるようにご尽力されております。今年、4年ぶりに韓国3750地区インターアクトとの交流事業を実現させることが出来た。

埼玉栄東高等学校と大宮開成高等学校の訪韓研修報告は、スクリーンにての活動報告でした。

一つひとつの行動、言動、将来、未来に対して初々しく話している姿が印象的でした。帰国後の現在も韓国の生徒とSNSを通じ翻訳機を駆使し交流を続けており、この機会を与えていただいたロータリーの皆様に感謝していると生徒が話しておりました。僕も子供達にこのような経験をさせてあげたいと思い早速、家族に伝えました。

### 青少年交換委員会浦野一郎(戸田RC)委員長より

ロータリー青少年交換プログラムは一年間の交換留学を通じて派遣学生及び来日学生にとって貴重な経験とめざましい成長をもたらし、次世代の国際理解・国際親善・世界平和を推進するプログラムであり、今期は越谷東RCからは田中基章会員のご子息である田中結晶(たなかゆうせい)君がイタリアに派遣され、Vasco君がイタリアより交換留学生として8月20日に来日し、結晶君は8月31日から9月1日にかけてロータリーの皆様に見送られイタリアに渡りました。Vasco君は9月1日から叡明高等学校での学びが始まり充実した日々をすごしております。

Vasco君の第一ホストファミリーの田中会員はじめ、カウンセラーの畔上様、会長幹事、各会員の皆様方引き続きご協力お願い申し上げます。

ロータリーに入会時には奉仕をやりたいと思い入会された方は非常に少ないと思います。私もその一人ですが、五大奉仕の一大イベントである青少年奉仕委員会の委員長に佐久間会長、理事の皆様方により拝命いただき、未来ある子供たちの成長と地域や国際活動に奉仕できるきっかけを与えて頂き感謝申し上げます。この経験を今後に活かしていければと思っております。

以上をもちまして、青少年奉仕部門セミナーの活動報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

### ■ ロータリー財団委員会 委員長 小暮 進勇

財団部門セミナー報告を致します。

日時は、9月2日(土)、場所は、川口フレンジーアで開催された財団部門セミナーに出席して参りました。会場は横に広く前列には、ガバナーを始め10名ほどの地区役員が左右に分かれて配置され、後は参加者が150～200名程度の状況でした。

14時に梨本松男ガバナーの点鐘で開会され、



式次第に沿って進められ各委員会の報告が各委員長により行われました。そして16時30分にガバナーにより閉会点鐘で閉じられました。

内容は次第に記載されたとおりでしたが、少し違う点は、小林 操財団委員長・諮問のとことで本人が他地区に出向している関係上欠席でしたので代わりに、早船雅文財団部門委員長が挨拶原稿を代読しておりました。もう一つは、各委員会の報告の後に次第にはなかったのですが、財団奨学生の近況報告等がありました。

委員会報告の内容については次第の項目順にスライドを使った説明でありました。それではこの後は、内容の一部で気になったところを持ち時間終了まで触れさせていただきます。

以上で、地区財団部門セミナーの報告とさせていただきます。

## ■ 米山記念奨学委員会 委員長 栗田 晴巳



8月27日（日）午後2時～4時半、川口駅東口市民ホール「フレンディ」4Fにて、開催されま

した。その前に、川口駅西口には「リリア」があり、良く行きますが、東口は今回初めて利用しました。それで、駅前は高架橋で駅前一周出来ていました。なんと凄いのだと感心しました。因みに我が越谷市と川口市を比べてみました。

人口34万人×59万人、面積60km<sup>2</sup>×62km<sup>2</sup>、高層タワー 2基×24基、財政収入1,118億円×2,198億円と、比較にならないほど川口市は都市化が進んでいました。比べてわが市は未だに広大な田園都市なのかと思いました。

米山梅吉と言う人とは、1920年（大正9年）日本に初めてロータリークラブを作った人です。それから3年後、1923年（大正12年9月1日）関東大震災発生し、全世界に「東京全滅」の知らせが送られました。世界のRCから東京RCへ義援金8万9千ドル（日本円3億円）が送られました。この莫大な金額に東京RC会員は驚き、なんと凄い組織なんだと改めて実感し、それ以来、社会奉仕活動を熱心に行うようになったそうです。

その後、戦争が始まり活動を止められましたが、戦後1945年（昭和24年）国際ロータリーに復帰しました。

しかし米山氏は1946年（昭和21年）復帰を見ずに亡くなりました。米山氏は生前、将来有望な若者が経済的な理由で進学を挫折しそうな人に対し、自費で学費を援助していました。また、東南アジアからの留学生を支援していました。この米山氏の想いを東京RCが受け継ぎ、米山記念奨学基金を始め、全国に広まりました。

この制度は日本だけのものです。財団の積み立て金は100億円あり、毎年16億円（普通4億円、特別9億円）の寄付があり、奨学支出は14億円です。奨学生は850人で、第2770地区には36人います。奨学生が何処の国かと言いますと中国22人・ベトナム9人・台湾1人です。大学では、最大17人・文教3人・聖学院5人・共栄5人です。

## セミナー報告

中国人が多い理由は大学に留学に来る方が圧倒的に中国の方の為です。当東クラブでも過去に15人の奨学生を受け入れています。当初は韓国や台湾でしたが、今は13年連続中国の方です。

基調講演で、米山親善大使のイメンジェブリ(女性・1990年生・33歳・チュニジア)の言われたことで、ニュートンの法則を話されました。「あらゆる行動に対して、同等かつ反対の反応が存在

します」あなたが、世界に与えたものは、世界もあなたに返してくれる。と言われました。いかに米山が大切かを感じました。これって、

この言葉と通じませんか?「最も多く奉仕するもの、最も多く報いられる」ロータリー標語ですね。

あとは、10月5日(木)第一例会、「米山梅吉物語り」をお楽しみに。



### スマイル報告

社会奉仕委員会 五十嵐 久幸

今 回

18,000円

累 計

224,500円



### 出席報告

出席委員会 榎本 裕希



### 次回例会のご案内

第1750回 9月21日

### ビジター・ゲスト

吉川ロータリークラブより、

なかむら やすはる  
パストガバナー 中村 靖治 様

おが い みのる  
元ガバナー補佐 尾ヶ井 實 様

しまむら ふみお  
2580地区直前ガバナー 嶋村 文男 様

### 外部卓話

なかむら やすはる  
吉川ロータリークラブ パストガバナー 中村 靖治 様  
テーマ「変わりゆくロータリー 変わらないロータリー」

